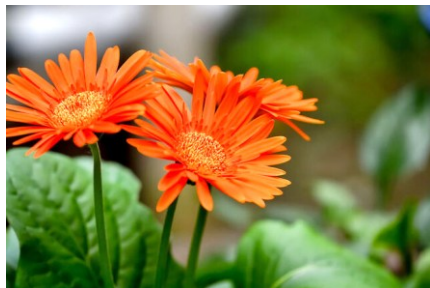


今月の言葉：

苦難を次のステップに

ガーベラ
改善

どんな人でも、一切の苦勞をせずに人生を送ることはできません。しかし、苦難の受け止め方によって、心に感じる苦しさの大きさは変わります。

苦難に対して逃げ腰になって、ふてくされたり人を責めたりしても、ますます気がふさぐばかりではないでしょうか。

そうでなく、苦難を「改善のチャンス」と捉えて積極的に取り組んでみると、いつかその経験も「ありがたいこと」として振り返ることができる日が来るのかもしれません。

苦難を次のステップとして、前向きに歩んでいきたいものです。

事件ファイル No. 214

CEO 詐欺

警視庁匿名・流動型犯罪グループ（匿流）対策本部は 9 日、実在する社長名をかたって本人のものではないメールアドレスから社員にメールを送り、LINE グループを作成させて現金を振り込ませる詐欺が急増していると発表した。昨年 12 月以降、東京都内で 18 件確認され、うち 4 件で計 1 億 4 千万円がだまし取られた。（総被害額は 9 億 8 千万円に上る見込み）全国各地で被害が起きている。

「業務プロジェクトに対応するため LINE のグループを作成して招待して」

とメールを送り、経理担当者などを含むグループを作らせた上、その中で「取引相手の振込先情報を送るから今すぐお金を振り込んでくれ」などと指示する手口。

一度に数千万円がだまし取られたケースもある。

【共通するワードは以下の通り】

- ・業務指示/委託/重要なお知らせ/至急など
- ・他社招待の禁止
- ・QR コードの作成
- ・経理/財務部

【弊社に届いた詐欺メール】 ↓

「お疲れ様。商談用の LINE グループを至急作成しておいて。要件は以下の通り：

グループ名： うちの会社正式名称（ロゴも設定すること）

メンバー： 現時点では俺（私）一人だけで OK

共有： 出来次第、招待用 QR コードをメールで送って。

追加メンバーの調整は後でやるから、まずは作成まで至急頼みます。

株式会社ケイプロ-----木戸 良樹」

3 件届きましたが、2 件は hotmail.com を使用していました。

【被害に遭った組織】

- ・東京都内の組織・企業 18 件
- ・長野県飯田市の企業
- ・北海道札幌市および函館市の企業
- ・新潟県十日市場町市の開発公社
- ・山形県観光協会
- ・三重県いなべ市の企業
- ・岐阜県多治見市の製造会社

今月の良い話

人生のダブルヘッダー



私にとって見える世界が失われたことは、世界が失われたことに等しかった。ただただ、ベッドの上に縮こまって、何も考えたくなかった。1年6か月の間、私の巣ごもりは続いた。その間、母が私を守る防波堤になってくれた。「がんばりなさい」とか「そろそろ再起をはかったら」などといったことは一言も言わなかった。「いった豆でない限り、かならず芽が出る 때가くるんだから」。母が繰り返し言ったのはその一言だけだった。

そんな生きているのか、死んでいるのかわからないような私の魂を呼び戻すきっかけとなったのは、かつて私が愛読していた雑誌に、ある評論家がお書きになった次の一文だった。

「野球の試合にダブルヘッダーがあるように、人生にもダブルヘッダーはある。最初の試合で負けたからといって、悲観することはない。

1回戦に素晴らしい試合をすることができたのなら、その試合が素晴らしかった分だけ、惨敗して悔しい思いをしたならば、悔しかった分だけ2回戦にかければいい。その2回戦は、それまでにどれだけウォーミングアップをしてきたかによって勝敗が決まってくる」私の2回戦はこれから始まるのだと思った。

1回戦とは違って、目の見えない私で戦わなければいけない。

だが、1年半というもの、2回戦を戦う準備をさせてもらった。

もうウォーミングアップは十分だと思った。いてもたってもいられない気持ちで東京都の福祉局に電話をかけ、戸山町にある心身障害者福祉センターを紹介してもらった。

目が見えなくなって、何から始めたらいいのかわからない私にとって、まず最初に必要なのは一人で歩けるようになることと、点字を読めるようになることだった。

やっと外界と接触する心の準備のできた私を後押しするように、電話で相談にのってくださった先生がおっしゃった。

「あなたは運のいい人ですね。ちょうど視覚障害者向けのカリキュラムにあきが出たところなのです。明日いらしてください。明日来られなければ、他の人に順番をまわしてしまいますからね」

舞い込んできた幸先のよさに喜び勇んで、新しい人生を出発することになった。そんな私の2回戦の試合模様が、先に『ベルナのしっぽ』という1冊の本にまとまった。

結婚して、子供を産み、盲導犬とともに暮らす奮闘ぶりが描かれている。

こうして、あの空白の1年半から立ち直ってみて思うのは、生きる勇気を失わない限り、私たちはたいていの困難を乗り越えていくことができるということである。不幸のどん底にいるときには、どこまでも奈落の底に落ちていくのではないかと思えてくる。

だがそれをこらえてじっと痛みを耐えていれば、かならず明るい光は見えてくる。その一つひとつの困難を乗り越えていくことが生きるということなのではないかと思う。

そして1試合目がうまくいなくても人生にはときに2試合目が巡ってくる。

そのためのウォーミングアップを続けていくことこそが次の一步を踏み出すためにもっとも大切なことなのだと思う。



今月の良い話

和への願い

令和 8 年、新しい年の始まりを、皆さんはどのように迎えられているのでしょうか。

現存するわが国最古の歌集「万葉集」が典拠となった元号「令和」。

ここには「人々が美しく心を寄せ合う中で、文化が生まれ育つ」という意味が込められています。また英語では「Beautiful Harmony」(美しい調和)と説明されるそうです。

ちなみに「和」という漢字が元号に使用されるのは、8 世紀の「和銅」以来、20 例目であるということです。

元号には、その時代の理想が表されます。

「和」という漢字が繰り返し用いられてきたのは、「世の中が平和でありますように」「和やかな日々が続きますように」といった、いつの時代も変わることのない人々の願いからではないでしょうか。

年の初めに当たり、改めて「令和」の意味を思いはせ、この一年も和やかに過ごしたいものです。

改めて「和」とは何でしょうか。

辞書を引いたときに見られるのは「仲良くすること」といった意味です。

これを実現する上でまず問われるものは、一人ひとりの心の姿勢でしょう。

例えば、忙しさに紛れて心のゆとりを失っているときなど、つい周囲への配慮を欠いた言動をとってしまうことはないでしょうか。

そうしたことから「不和」が生じるのかもしれない。

人間が生きている限り「誰とも関わらない」というわけにはいきません。

お互いの関わりの中で気持ち良く過ごすためには、「自分さえ良ければ」という態度ではなく、温かい心を交わし合う必要があるのでしょうか。

日々どのような心で人と接するのか。

その姿勢次第で、人間関係は良くも悪くもなるものです。

私たちが大切にしたい「和の心」とは、「自分にも周囲の人たちにも安心と喜びをもたらす心がけ」といえるのではないのでしょうか。私たちの日常は、さまざまな人とのつながりの中にあります。

もし身近な人間関係から「和」が失われたなら、自分の心の平穏も失われていくのでしょうか。そうならないために心がけるべきは、まず自らが率先して「感謝」や「思いやり」といった温かい心を発揮することではないでしょうか。

例えば、誰かの思いやりを受けたときは、素直に感謝の気持ちを伝えること。

「ありがとう」という言葉を口にしてみると、自分の心の中にも温かい気持ちが沸き起こることに気づくのではないのでしょうか。

さらに、その「ありがとう」が相手の喜びにつながるとしたら、お互いの間に生まれた和やかな空気は周囲にも波及していくでしょう。

思いやりの実践というのも、必ずしも特別なことをしなければならないわけでもなく、日常のちょっとした場面で周囲に気を配ることから始められるのではないのでしょうか。

例えば、笑顔一つ、温かい言葉一つでも、人の心に安心や喜びを届けることはできるでしょう。

こうして考えると、「和」を実現する手がかりは、私たちの日常の至るところに存在するようです。

プロ太の小話集 No.214

トシカズとオウム

トシカズは、真面目一途の男であった。酒も煙草もやらず、生き甲斐と言っても働くことばかり。家族と一緒に過ごすことがめったにない彼に妻は寂しさを覚えていたが、遊び呆ける男よりはずっといいと思いオウムを飼って気を紛らわせていた。

ある日そのオウムが死んでしまい、妻は悲しみながらも新しいオウムを飼おうとペットショップに出かけた。そこには一羽のオウムがいた。そのオウムは場末の如何わしい店で飼っていたものが引き取られたもので、下品な言葉を覚えているとの話であったが、妻は「それでいいわ。また訓練し直すから」と買って帰った。

～すると珍しく家族が全員家に揃っていた。早速、トシカズや娘のいる前で彼女は鳥かごの覆いを取った。オウムはびっくりし、目をパチパチさせたがしゃべり出した。「おんや、新しい店じゃねえか・・・フム。新顔のマダムに新しいチャンネーだな。ありゃ？なんでエ、どっかで見た顔だと思ったらトシカズじゃないか、久しぶりだな、オイ。相変わらずお盛んだな。今日は場所換えかい？このスケベ！」

詐欺は、あの手この手と色々な手口で私たちに近づいてきます。昨年12月以降に新たに発生したLINE詐欺は、大きな企業や組織に被害が多く発生しているようです。

朝礼や会議などで、是非、注意喚起を行って下さい。

令和を英語で訳すと「Beautiful Harmony」（美しい調和）というそうです。素敵ですね。

中国人観光客が激減しているようですが、彼らが日本に来て思うのは、食べ物も美味しく、ゴミのない調和のとれた美しい国と規律正しい人々という感じでしょうか。

日本を自分の目で見た中国人は、統制がとれたこんな国と戦争になったらとても敵わないと思うでしょう。観光が防衛に繋がる一助となっているかもしれません。

応
援
団
体
企
業

TOHO
HOLDINGS



加盟団体

RID2770 川口モーニングロータリークラブ

NPO法人 さいたま起業家協議会

公益社団法人 千葉東法人会

公益財団法人 モラロジー道德教育財団

<https://kawaguchi-morning.jp/>

<https://saitama-kk.org/>

<https://www.chibahojin.jp/>

<https://www.moralogy.jp>

事業所

商 号 株式会社ケイプロ

屋 号 都市防犯プランニング社

本 社 埼玉県蕨市中央1-7-1シティタワー蕨

千葉支店 千葉県千葉市中央区新町1-20江澤ビル

<https://k-puro.co.jp/>

mail info@k-puro.co.jp

TEL 048-446-9445

TEL 043-243-6110

業 務 内 容

機械警備事業 弊社のセキュリティプランにセコム・ALSOK の大手警備会社のインフラを使用

防犯カメラ事業 周辺環境・建物構造・人的要因等を加味し用途に沿ったカメラ選別と適位置へ設置

損害保険事業 セコム損害保険の代理店としてお客様に最適なプランをご提案